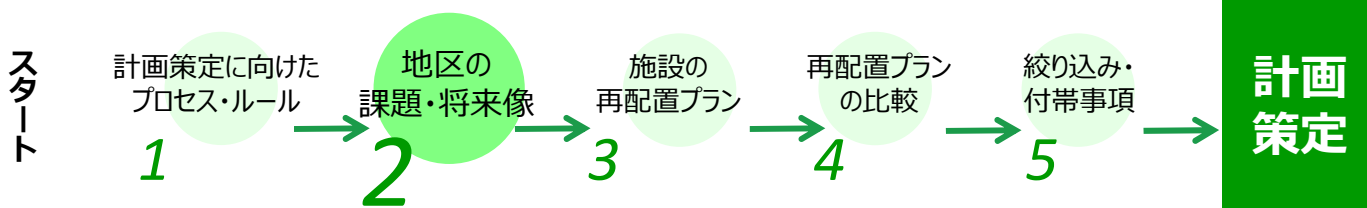




## 形原地区 まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

蒲郡市では、地区の皆さまが主な利用者となる公共施設（小学校・中学校・保育園・児童館・公民館）の将来の配置や使い方を示す「地区個別計画」を策定するため、中学校区ごとに「まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を開催しています。本かわらばんでは、形原地区ワークショップでの検討内容をお知らせします。

### ワークショップの流れと進捗状況



まだ暑さの残る9月ではありましたが、9月10日開催の第2回に31人の方に参加いただきました。

この日は、冒頭に保育園・小中学校・公民館の規模適正化方針について情報共有しました。また、第1回で洗い出した蒲郡市が抱える課題を踏まえた8つの視点を整理し、それぞれの視点をもとに話し合いました。

**Check !** 令和3年に、市が公表した規模適正化方針では、形原地区においては、将来的に小中学校は標準規模を維持できる見込み、公民館は1館が望ましく、保育園は現在の3園から1つ減らした2園とする、という方針が出されています。

### 8つの視点

- 1 多様な人々との交流
- 2 子育てしやすい環境づくり
- 3 子ども達の居場所づくり
- 4 地域の活性化
- 5 高齢者の活躍
- 6 安全・安心
- 7 利便性の向上
- 8 効率的な施設配置

